

陳 情 書

平成 24 年 11 月 2 日

文京区長 成澤廣修 殿

文京区議会議長 宮崎文雄 殿

〒112-0011 東京都文京区千石 2-10
広 田 淳 子
電話・FAX：03-3944-5934
〒112-0001 東京都文京区白山 4-10
稲 葉 信 子
電話：03-5976-8223

陳情内容：東京都文京区にある小石川植物園（御薬園跡及び養生所跡）は、平成 24 年 6 月 15 日の文化審議会答申に基づいて、同年 9 月 19 日に国の指定文化財（名勝及び史跡）に指定されました。しかしながら、現在、その西面の敷地を最大 2 メートル幅で削って区道を拡幅する計画が、文京区と東京大学との間で進められようとしています。近隣住民への十分な説明もなく、また、現実的に必要性の乏しい道路拡幅計画です。

文京区では、区内にある貴重な国の指定文化財（名勝及び史跡）としての植物園の文化的・歴史的意義をふまえ、指定以前に話が進んでいた区道拡張計画の見直しをお願いしたく存じます。また、国の指定文化財（名勝及び史跡）としての植物園の保全について、文京区としてのお考えをお聞かせ願えればと思います（要望 1 と 2）。

また、これと関わって、下記の 3～6 を要望する署名 3200 筆を提出いたします。昨年 12 月 13 日、本年 3 月 28 日、5 月 24 日には同趣旨の署名累計 12010 筆を提出いたしました。今回新たに提出する署名を合わせて、15210 筆にのぼりました。すでに 1 万 5 千人以上もの方々が、この問題に対して疑問を表明しておられます。なお、要望 1 は緊急の事項ですので、お手数ですが 11 月 16 日までに書面でご回答をいただきたく存じます。

- 1 国の指定文化財（名勝及び史跡）の指定を受けたことで、小石川植物園の周辺道路（区道）の拡幅計画を見直されるお考えはありますか。あるならば、どのようなのか教えてください。もしもないとすると、植物園の文化的・歴史的意義と、周辺道路（区道）の拡幅計画への敷地の提供との関係を、文京区としてどう位置づけられているのか教えてください。
- 2 国の指定文化財（名勝及び史跡）としての植物園の保全について、地元の文京区がしっかりとした支援の方針をもっていただきたいのですが、それについて文京区

ではいかなる取り組みがなされているのかどうか、教えてください。

- 3 小石川植物園の周辺道路（区道）の拡幅のために、小石川植物園の敷地を大幅に削る事業計画を見直して、植物園の敷地をできるだけ削らないものに変更してください。
- 4 文京区の小石川植物園周辺道路基本計画（案）による、小石川植物園脇の区道の拡充工事を、準備作業も含めてすぐに停止していただきたい。
- 5 この計画に関して、文京区、東京大学、小石川植物園、東京都、及び一般区民（近隣及び区内在住者等）の5者で協議する場を、急いで設けてください。
- 6 この計画の可否について、文京区のコミュニティゾーン整備協議会であらためて議論をしてください。

陳情理由：現在、文京区白山にある小石川植物園は、江戸時代中期以来、形状をほぼ保ったまま今に至っています。区民にとっても国民にとっても、大切な歴史的・文化的遺産でもあり、植物学（本草学）上、世界的にも貴重な施設でもあります。平成24年6月15日の文化審議会答申に基づいて、同年9月19日に国の指定文化財（名勝及び史跡）に指定されました。

しかしながら、現在、文京区が計画している小石川植物園周辺道路基本計画（案）は、東京大学が所有する小石川植物園の敷地を大きく削る計画です。西側道路側は、大半の部分が約1～2メートルずつ削られ、のべ1200平方メートルもの植物園の敷地が道路の拡幅に提供され、多くの植物が失われてしまいます。悲しいことに、御殿坂側はすでに最大2.9メートル削られてしまいました。

小石川植物園の辺縁部は、植物園の中の、蝶や鳥、虫といった生物の保護体の役目をしており、辺縁部によって内側の自然植生などが守られています。植物園が21世紀のバイオ産業などの知の拠点として機能していくためには、珍しい草木の保存だけでなく、生態系を維持するためにその周囲の雑木やその下草も、土壌や水の循環も含めて、全体の規模を縮小せずに維持されていく必要があるはずで、その意味では国益にも反しているのではないかという思いを抱かざるをえません。

このままでは、住民に必ずしも必要ではない道路拡幅のために、1700年代からの形状を保ってきた貴重な歴史的遺産であるはずの小石川植物園が、不当に削られてしまう計画が実施されてしまいます。

歴史的な遺産や文化財を大切にこそ、「文の京・文京区」の名に値します。どうかよろしく願いいたします。

すでに御殿坂側の工事は終了しましたが、私どもが受けた説明と異なり、コンボや資材を敷地内に置いたり、掘った土を積み上げたりするために、道路にする予定地を超えて植物園内のかなり広い面積（最大幅約10メートル）の樹木や下草が、説明なしに工事業者によって伐採されて更地にされてしまいました。正門側の工事の話が進んでいると思いますが、この点を含め、多くの疑問や心配があります。

まだ正門側は計画を抜本的に見直すことが可能です。私たちは植物園の深刻な危機と思います。誠実なご対応をお願いいたします。どうぞよろしく願いいたします。

以上